



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1609 / 2022. 6. 03

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

東京赤坂ロータリークラブ週報

Weekly Report

2021~2022年度クラブテーマ

会長 河邊 幸夫

「みんなで親睦・奉仕 楽しく規律ある例会」

本日の例会: 2022年 6月 3日 通算 1638回 本年度 第39回

卓話: イニシエーションスピーチ 林 志英 氏

- 第1637回 例会報告 / 2022年 5月 27日
出席報告: 会員 53名 出席 24名 (内 ZOOM 0名)
ゲスト: 若松弘樹 (卓話)

卓話:

社会福祉法人
聖友ホーム常務理事
聖友学園施設長
若松 弘樹 氏



会長報告:

明日5/21、福山赤坂RCの
25周年記念式典へ会長、
幹事、小林パスト会長で
出席してきました。とても
良い式典でした。



熊本会員:

- ① 6/4~6/8 のヒューストンの国際大会中に、次回の2023年5/27~5/31のオーストラリア・メルボルンの国際大会の登録をすると安くなります。
- ② 8/6~8の予定で青森のねぶた祭を楽しむ親睦旅行を行います。参加者は現在32名となっております。あと4名程余裕があります。

5月 27日 9件 21,000円 累計1,150,000円
多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

河邊幸夫/福田栄二/岩上義明/熊本誠司/金山驍/ティエリ・コンシニ/高窪祥文/佐藤仁/浅野衣理奈

今後の予定	日付	開始時間 終了時間	場所	事項	内 容
	6月 10日	12:30 13:30	37F アリエス ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話: 柔道家 格闘家 吉田 秀彦 氏
	6月 17日	12:30 14:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	本年度第6回・次年度第1回クラブ協議会 「本年度各委員会クラブ活動報告・ 次年度各委員会クラブ活動計画」
	6月 24日	18:00	B1F グローリー ⁺ ANA インターコンチネンタルホテル東京	夜間例会 打ち上げ会	夜間例会・打ち上げ会 山上兄弟のマジックショー
	7月 1日	12:30 13:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話: 衆議院議員 山田美樹先生
	7月 8日	12:30 13:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話: 日本アマチュアゴルフ界のレジェンド 阪田 哲男 氏

ロータリー財団がウクライナ地域での直接的人道支援の窓口を設置

ウクライナでの戦争により深刻化する人道的危機への対応として、ロータリー財団は現在、ロータリー地区が実施している救援活動を支える資金を世界中の人々が寄付することのできる正式な窓口として、[災害救援基金](#)を指定しました。

これに伴い、ロータリー財団は以下を承認しました：

- 現在から 2022 年 6 月 30 日まで、ウクライナと国境を接する指定ロータリー地区とウクライナ国内のロータリー地区は、災害救援基金から各地区 5 万ドルまでの補助金を申請できます。迅速な手続きが行われるこれらの補助金は、水、食料、シェルター、医療品、衣服といった救援物資を含め、この危機による難民や被災者の支援に利用できます。
- 上記の期間、難民やそのほかの被災者への支援を希望する、影響を受けたほかのロータリー地区も、災害救援基金から 25,000 ドルの補助金を申請することができます。
- 現在から 2022 年 4 月 30 日まで、ロータリー地区は未配分の地区財団活動資金 (DDF) を災害救援基金に充て、ウクライナと関連する人道的補助金を支援することができます。
- ウクライナ支援のための災害救援基金への寄付は、[こちら](#)からお寄せいただけます。ウクライナでの救援活動を支援するための災害救援基金へのご寄付は、2022 年 4 月 30 日までに行う必要があります。
- ロータリー財団を通じた支援は災害救援基金が主な窓口となります。ロータリークラブとローターアクトクラブもウクライナでの人道的危機に対して独自の支援を行うことが奨励されています。

災害救援基金を通じた支援に加え、財団はパートナー団体や地域リーダーと協力し、増加する人道的ニーズへの効果的なソリューションを模索しています。

- 国連難民高等弁務官事務所（米国）と協議し、ウクライナや近隣諸国で行き場のない人びとのニーズに対応するための準備を進めています。
- 災害救援におけるプロジェクトパートナーであるシェルターボックスは、東欧のロータリー会員と連絡を取り、一時的な住居やほかの必要物資の提供方法について検討しています。
- 「難民、強制退去者、移住者のためのロータリー行動グループ (The Rotary Action Group for Refugees, Forced Displacement, and Migration)」は、この危機への対応としてグループのリソースを集結させています。

すでに 200 万人以上がウクライナから避難しており、緊急支援が早急に必要となっています。国連は、避難する人の数が 500 万人に上る可能性があると推測しています。ヨーロッパや世界のロータリークラブが救援活動に乗り出しており、中には避難者を支援するために現地で活動しているクラブもあります。

ロータリーでは、ウクライナと近隣諸国での状況を引き続き注視していきます。クラブによる支援方法や、ロータリー会員にできること、現地の人びとの影響等に関する最新情報は、ロータリーのソーシャルメディアをフォローしてご覧ください。

ご質問はロータリーお問い合わせセンターまでご連絡ください（rotarysupportcenter@rotary.org）。

（国際ロータリーHP より <https://www.rotary.org/en/node/8318>）